

総合計画上の位置付け

| | | | | | |
|-------|-------------|-------|------------------|----|-------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 | 施策の目的 | 市民が相互に支え合う福祉を進める | 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
|-------|-------------|-------|------------------|----|-------------|

主要事業と関連部署

| 施策の方向 | 事業名 | 部署名 |
|-----------------|----------------|-------|
| 出会い・結婚支援の充実 | ふれあいサポート事業 | 市民課 |
| 妊娠・出産・産後支援の充実 | 産婦健診の実施 | 保健推進課 |
| 切れ目のない子育て世代への支援 | 公立子育て支援センターの運営 | こども課 |
| 子育て支援の充実 | 多子世帯子育て応援支給事業 | こども課 |
| 教育・保育施設機能の充実 | 民間保育所管理費補助事業 | こども課 |
| ひとり親家庭の支援 | 母子・父子・寡婦福祉事業 | こども課 |

目標

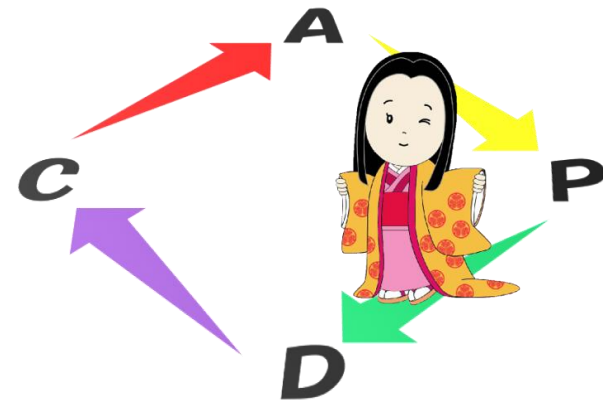
| 指標名 | 指標の考え方 | 方向性 | 2017年 | 2022年 |
|----------------------|----------------------------------|---|-------|-------|
| 少子化対策・子育て支援に対する市民満足度 | 2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合 | 後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。 | 18.4% | 23.4% |
| 待機児童数 | 親が育児休業中でも復職意向がある場合を含む人数 | 企業内保育所や認定こども園の設置促進及び市立保育所の改修等を実施することによって解消を目指す。 | 3人 | 0人 |
| | | | | |
| | | | | |

令和2年度の実行状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

常総市の人口安定のために必要な事業であるが、ウィズコロナの時代における若い世代向けの施策を今のうちにデザインしていかなければ手遅れになり、人口減少はさらに進行していくように思う。ふれあいサポート事業については、事業の意味や価値、目的において見直しをすべきと考える。産後うつについては、社会問題化していることも含め、一層の拡充を行うべきである。多様な事業がある中、即効性と持続性の高い施策を選択していただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

| | | | | | |
|------|------------|----|-----|-----|-----------|
| 事業名 | ふれあいサポート事業 | | | | 事業の 目的 |
| 担当 | 市民課 | | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | | |
| | 2款 | 1項 | 10目 | 2事業 | |

少子化対策や若い世代の定住人口の増加に繋げるため、結婚を希望する男女の出会いの場やふれあいの場を提供し、未婚化、晩婚化に歯止めをかける。

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | 出会い・結婚支援の充実 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|--|---------|---------|
| 令和3年度 | 予算額 | 1,086千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果目標 | | 3組 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 毎月2回実施している結婚相談会において、ふれあいサポーターが結婚に関する様々な相談を受けるほか、ふれあいサポート会員同士の出会いの場の提供等の支援を行う。市とふれあいサポーターとの新たな関係づくりの構築により、サポーター会員に対し必要な支援体制を整備していく。 | | |

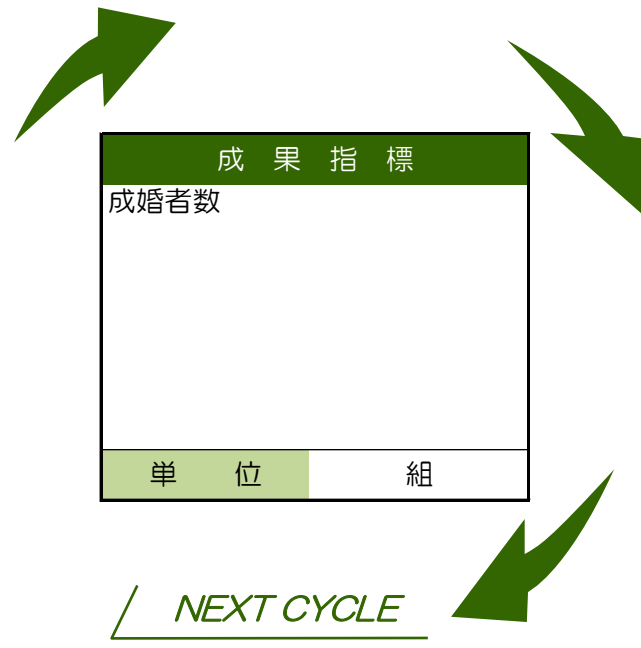
【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|--|
| 評価 | 年3回予定していたふれあいパーティーをすべて中止したことで、パーティーによる新たなカップル誕生は叶わなかったが、平成31年3月に開催したパーティーで出会ったカップル1組の成婚が報告された。 |
| 分析 | ふれあいサポート男女会員のアンバランスは、男女の意識と行動の差によるものと思われる。婚活を応援するには、多様な選択肢の中から出会いの機会を提供することであり、それには広域的な力が必要であると考えます。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|

| | | |
|---|---------|-------|
| 令和2年度 | 決算額 | 663千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | | 1組 |
| 当初の成果目標 | | —組 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 結婚相談会については、一部中止または一部縮小しながら19回開催のところを14回開催し、延べ29件の相談を行った。ふれあいパーティーについては、すべて中止となった。今後の婚活パーティー形式を非対面式のオンラインに移行していくに当たりサポーターに対して基礎的知識習得のため研修会を実施した。なお、ふれあいサポート入会会員の増員を図るため、入会申込に係る書類を分かりやすく親しみやすいものにリニューアルした。 | | |



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | | 組 |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | | 令和6年度 |
| 組 | | 組 |

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和元年度 | 決算額 | 782千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | | 0組 |
| 当初の成果目標 | | —組 |

事業の説明

| | | | | |
|-------|--|----|----|-----|
| 事業名 | 産婦健診の実施 | | | |
| 担当 | 保健推進課 | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | |
| | 4款 | 1項 | 6目 | 1事業 |
| 事業の目的 | 産後うつ傾向等問題があるケースを早期に把握し、産後ケア事業等の支援に繋げる。 | | | |

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | 妊娠・出産・産後支援の充実 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|--|---------|---------|
| 令和3年度 | 予算額 | 3,256千円 |
| | うち 特定財源 | 1,600千円 |
| 成果目標 | | 89.0 % |
| 実施内容と改善点 | | |
| 産後2週間及び1か月で利用できる産婦健康診査受診票を交付し、健診費用の公費負担を行う。産後うつ発見の機会として活用してもらうため、子育てアプリのプッシュ通知や出生届出時のチラシ配布等を通じて、受診勧奨を行う。 | | |

| | | |
|--|---------|---------|
| 令和2年度 | 決算額 | 3,124千円 |
| | うち 特定財源 | 1,600千円 |
| 成果実績 | | 84.2 % |
| 当初の成果目標 | | - % |
| 実施内容と改善点 | | |
| 産後2週間及び1か月で利用できる産婦健康診査受診票を交付し、健診費用の公費負担を行った。また、未受診者を減らすため、9月から子育てアプリの仮導入を実施した。 | | |

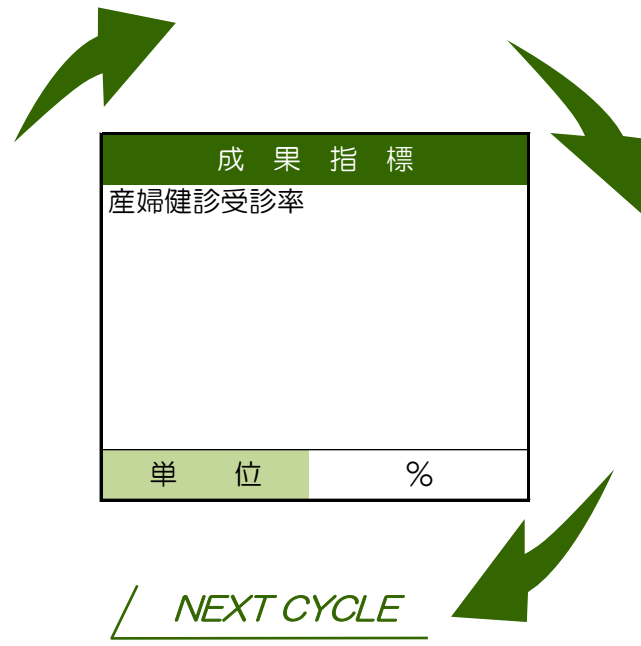
| | | |
|---------|---------|---------|
| 令和元年度 | 決算額 | 3,074千円 |
| | うち 特定財源 | 1,511千円 |
| 成果実績 | | 88.2 % |
| 当初の成果目標 | | - % |

【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|--|
| 評価 | 前年度と比べて受診率は下がっているが、産後うつ等の恐れのあるケースについては、医療機関との連携を例年以上に頻繁に行い、早期の訪問等で支援を実施した。 |
| 分析 | コロナ禍で外出を控えた結果、受診の機会を逃したケースもいると考えられる。受診の有無を把握できるのが産後3か月頃になってしまうため、未受診が判明してからのアプローチでは適切な時期を逃してしまう。妊娠期から出生時にかけて健診の重要性を伝え、受診勧奨していく必要がある。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | | % |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | | 令和6年度 |
| % | | % |

事業の説明

| | | | | |
|-------|---|----|----|-----|
| 事業名 | 公立子育て支援センターの運営 | | | |
| 担当 | こども課 | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | |
| | 3款 | 2項 | 6目 | 1事業 |
| 事業の目的 | 地域間・子育て世帯間の豊かな交流を通して利用者の繋がりが生まれることで、子育てによる孤立感・不安感の解消を目指す。 | | | |

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | 切れ目のない子育て世代への支援 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|---|---------|---------|
| 令和3年度 | 予算額 | 4,479千円 |
| | うち 特定財源 | 2,986千円 |
| 成果目標 | | 55 人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 新型コロナウイルス感染拡大防止のため引き続き利用制限等を行っている。その中でもできる内容の事業に見直ししながら、子育てサイトなども積極的に活用して安心安全な環境の中で子育て支援を行っていく。 | | |

| | | |
|---|---------|---------|
| 令和2年度 | 決算額 | 4,069千円 |
| | うち 特定財源 | 2,713千円 |
| 成果実績 | | 53 人 |
| 当初の成果目標 | | — 人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限を行い、イベント等の実施は中止とし、電話による子育て相談を行った。後半は状況を見ながら事業内容の見直しをしていき、回数を分けたり、安全な環境の中で行えるイベントなどを工夫して行った。 | | |

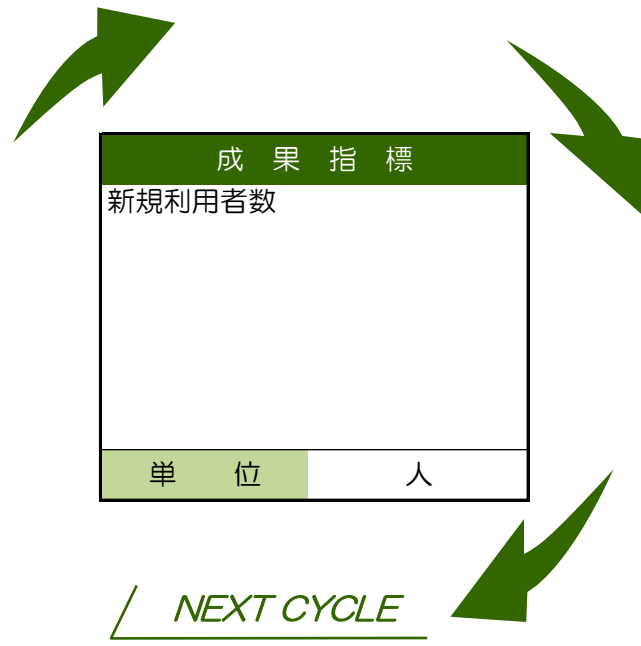
| | | |
|---------|---------|---------|
| 令和元年度 | 決算額 | 3,491千円 |
| | うち 特定財源 | 3,329千円 |
| 成果実績 | | 80 人 |
| 当初の成果目標 | | — 人 |

【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|---|
| 評価 | 新型コロナウイルス感染防止のため、状況を見ながら利用制限等の実施となり、利用者数は減少したが、情報発信や電話相談等、できる範囲で事業の見直し等を行い実施した。 |
| 分析 | 民間の子育て支援センターの利用が制限された状況もあり、広範囲の地域の方が当施設を利用されるようになった。今後通常運営となった際も引き続きリピートして利用され、活発な利用が見込まれると考える。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | | 人 |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | | 令和6年度 |
| 人 | | 人 |

事業の説明

| | | | | |
|-------|---|----|----|-----|
| 事業名 | 多子世帯子育て応援支給事業 | | | |
| 担当 | こども課 | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | |
| | 3款 | 2項 | 1目 | 5事業 |
| 事業の目的 | 安心して子育てできる環境や経済的不安を解消し、当市での出産・子育ての魅力をPRし、少子化対策に繋げていく。 | | | |

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | 子育て支援の充実 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|---|---------|---------|
| 令和3年度 | 予算額 | 5,240千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果目標 | | 63 人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| ホームページやお知らせ版等で事業の案内を積極的に行うほか、当事業以外の子育て支援施策の案内も広く行っていき、これらを現時点で対象でない子育て世帯にも周知することで、出産・子育てに対する不安の解消を図る。 | | |

| | | |
|---|---------|---------|
| 令和2年度 | 決算額 | 4,630千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | | 63 人 |
| 当初の成果目標 | | — 人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 申請対象者への個別通知や、未申請者への再申請期間を設けることで、申請漏れのないよう案内を行う。今後申請者が増え、少子化対策へ繋がるように広範囲な周知を行うためHPやお知らせ版などの掲載も行った。 | | |

| | | |
|---------|---------|---------|
| 令和元年度 | 決算額 | 4,450千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | | 42 人 |
| 当初の成果目標 | | — 人 |

【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|--|
| 評価 | 事業開始から3年目となるが、出生数の増加に伴い、出産祝金申請数から見た第3子以降の出生数が前年度より20名ほど増加となった。 |
| 分析 | 当事業が、第3子以降の出生を望んでいるが経済的な不安や子育て環境に不安がある方への後押しとなれているかの評価は、今後継続して出生数の経過を見ながら、事業の効果を検証する必要があると考える。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | | 人 |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | | 令和6年度 |
| 人 | | 人 |

事業の説明

| | | | | |
|-------|---|----|----|-----|
| 事業名 | 民間保育所管理費補助事業 | | | |
| 担当 | こども課 | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | |
| | 3款 | 2項 | 1目 | 3事業 |
| 事業の目的 | 市内民間保育所の適正な管理運営や保育士等の業務負担軽減となり、離職防止及び保育の質の向上を目的とする。 | | | |

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | 教育・保育施設機能の充実 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|---|--------------|---------|
| 令和3年度 | 予算額 | 8,665千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果目標 | 待機児童数(4/1現在) | 0人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 市内施設の保育体制の向上を図るため、民間保育施設に対し児童定員数×1,030円の補助を実施している。用途は児童の保育に要する経費、職員の処遇向上に要する経費、施設又は設備の維持に要する経費など。 | | |

| | | |
|---|--------------|---------|
| 令和2年度 | 決算額 | 7,923千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | 待機児童数(4/1現在) | 1人 |
| 当初の成果目標 | 待機児童数(4/1現在) | 0人 |
| 実施内容と改善点 | | |
| 市内施設の保育体制の向上を図るため、民間保育施設に対し児童定員数×1,030円の補助を実施した。用途は児童の保育に要する経費、職員の処遇向上に要する経費、施設又は設備の維持に要する経費など。 | | |

| | | |
|---------|--------------|---------|
| 令和元年度 | 決算額 | 7,935千円 |
| | うち 特定財源 | 0千円 |
| 成果実績 | 待機児童数(4/1現在) | 4人 |
| 当初の成果目標 | 待機児童数(4/1現在) | 0人 |

【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|---|
| 評価 | 民間保育施設の保育体制の安定及び保育サービスの維持を図るには、必要な補助事業である。実績内容としてはほぼ施設・設備の維持に要する経費となっている。 |
| 分析 | 実績にもあるように、保育施設設備維持に要する経費として必要な事業ではあるが、深刻化する保育士不足に対する事業に見直す時期にきている。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|---|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | | 人 |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | | 人 |
| 令和6年度 | | 人 |

事業の説明

| | | | | |
|-------|--|----|----|-----|
| 事業名 | 母子・父子・寡婦福祉事業 | | | |
| 担当 | こども課 | | | |
| 予算科目 | 一般会計 | | | |
| | 3款 | 2項 | 1目 | 3事業 |
| 事業の目的 | ひとり親家庭の保護者に親子で触れ合う機会や、交流の場を提供し、会員同士の情報共有を図りながら児童の健全な育成を図る。 | | | |

総合計画上の位置付け

| | |
|-------|------------------|
| 施策の大綱 | 保健・医療・福祉の充実 |
| 施策の目標 | 市民が相互に支え合う福祉を進める |
| 施策 | 少子化対策・子育て支援 |
| 施策の方向 | ひとり親家庭の支援 |

【Do】これまでの実績と現在の取組み

| | | |
|---|---------|----------|
| 令和3年度 | 予算額 | 250,000円 |
| | うち 特定財源 | 0円 |
| 成果目標 | 70人 | |
| 実施内容と改善点 | | |
| 母子寡婦福祉会会員の親子20名で、チャレンジ教室のイベントで藍染め体験を行った。参加者からも好評だったため再度計画することも検討する。 | | |

| | | |
|---|---------|----------|
| 令和2年度 | 決算額 | 133,623円 |
| | うち 特定財源 | 0円 |
| 成果実績 | 67人 | |
| 当初の成果目標 | 68人 | |
| 実施内容と改善点 | | |
| コロナ禍で事業の一部を中止することとなってしまったが、バーベキューやクリスマス会など、コロナ感染対策をとりながら開催し、親子が触れ合う機会をもつことができた。 | | |

| | | |
|---------|---------|----------|
| 令和元年度 | 決算額 | 309,240円 |
| | うち 特定財源 | 0円 |
| 成果実績 | 69人 | |
| 当初の成果目標 | 69人 | |

【Check】令和2年度実績の評価と分析

| | |
|----|--|
| 評価 | 研修の中止、イベントの減少等も影響してか、成果実績としては減少したものの、大幅な減少とはならなかった。また、限られた事業の実施にはなったが、会員同士の交流を深めることができた。 |
| 分析 | 会員からの声掛けはもちろん、児童扶養手当申請時に行っている事業の案内などでも、会員となってくれる方がいる。今後もHPや広報等も活用し会員数の増加を目指す。 |

【Action】今後に向けた改善点

| | |
|----|--|
| 方針 | |
|----|--|



【Plan】今後の計画

| | | |
|---------|---------|-------|
| 令和4年度 | 予算額 | |
| | うち 特定財源 | |
| 成果目標 | 人 | |
| 実施内容 | | |
| 今後の成果目標 | | |
| 令和5年度 | 人 | 令和6年度 |
| | | 人 |

NEXT CYCLE